

# 環境活動レポート



対象期間      2018年4月1日～2019年3月31日  
発行日        2019年5月21日

常沢ビルサービス株式会社

## 【1】事業所(登録範囲)の概要

### ▽ 事業所名及び代表者名

常沢ビルサービス株式会社

代表取締役 常 少 常 三

(本社所在地)

〒921-8155 石川県金沢市高尾台1丁目422番地

(白山支店所在地)

〒920-2128 石川県白山市鶴来下東町カ74

### ▽ 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 専務取締役 澤 晴 夫

事務局 高 島 友 美

TEL:076-272-8335  
FAX:076-272-8345

E-mail  
tunesawa@aqua.ocn.ne.jp

### ▽ 事業活動

ビルメンテナンス業

A.清掃業務部門 (事務所ビル・病院・介護施設の清掃)

B.設備管理部門 (ボイラー・電気設備の維持管理)

C.業務部門 (床ワックス清掃・貯水槽清掃)

### ▽ 事業の規模

設 立 1978年12月

資 本 金 1,000万円

従業員数 104 人

### ▽ 認証登録範囲の対象範囲

常沢ビルサービス株式会社 本社及び白山支店

### ▽ 環境活動レポートの公表の方法

(1) 当社にて、書面での備え付け閲覧に供します。

(2) 社外の方からの要望があれば積極的に提供します。

## 【2】

# 環 境 方 針

### [ 環 境 理 念 ]

当社 常沢ビルサービス株式会社は、地球環境の保全が世界共通の重要課題の一つである「環境の時代」を認識し、その事業活動のあらゆる面において環境負荷の低減に努めます。

### [ 環 境 活 動 指 針 ]

- (1) 事業活動からの環境負荷を把握し、環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善に努めます。
- (2) 事業活動に関する環境関連法規制及びその他の要求事項の遵守に努めます。
- (3) 事業活動によって排出される廃棄物の分別を行い、再生可能な資源についてはリサイクル化に努めます。
- (4) 事業活動においての、省エネルギー、省資源化を図り、二酸化炭素の排出削減に努めます。
- (5) 事業活動における水の使用量の削減に努めます。
- (6) この環境方針は、当社従業員への周知徹底を図り、必要に応じ公開します。

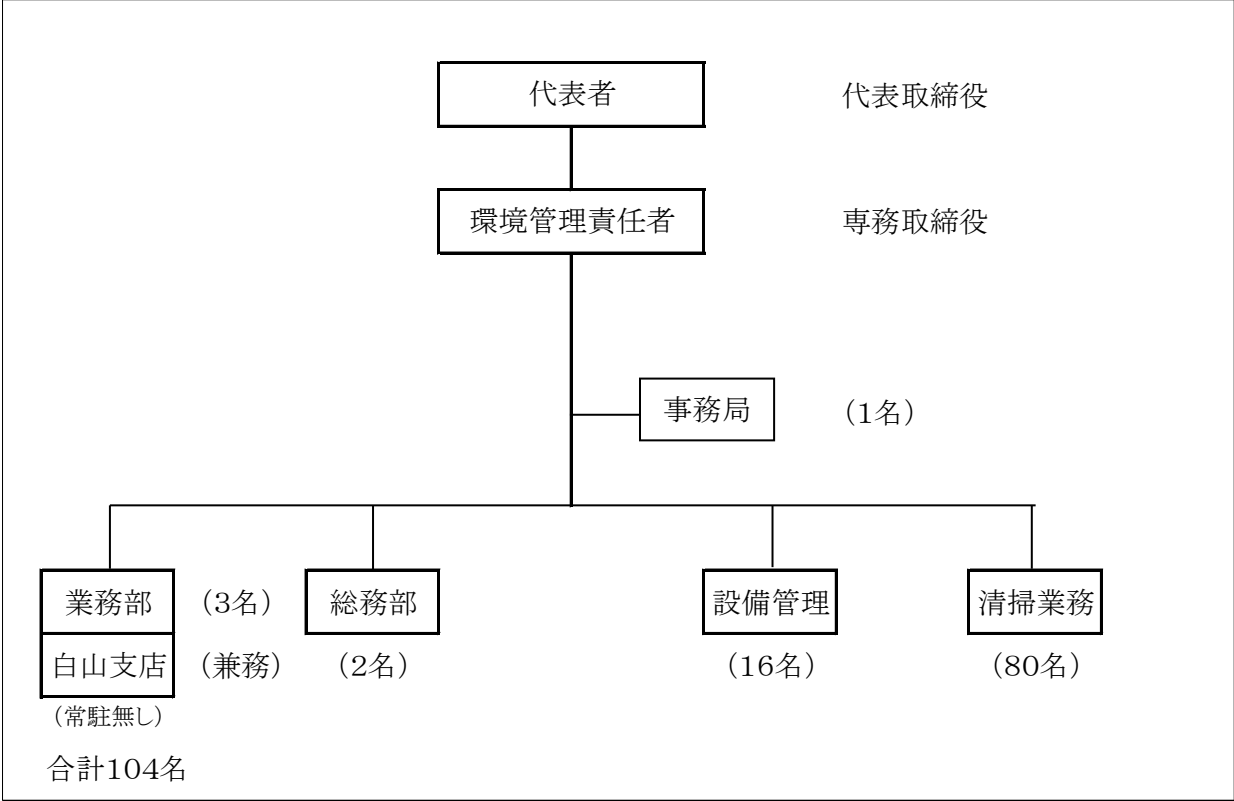
2015年12月12日

常沢ビルサービス株式会社  
代表取締役  
齊藤利明

【3】

常沢ビルサービス株式会社  
エコアクション21 推進体制表

2018年4月1日



【責任者の役割】

経営層	環境方針の制定
	環境管理責任者の任命
	環境保全に関する経営資源の提供
	エコアクションシステムの見直しをする
環境管理責任者	エコアクション21活動責任者
	環境活動レポートの作成、公開
	環境目標、計画の作成と進捗管理
	環境関連法規の遵守評価
事務局	環境管理責任者の補佐
	進捗管理のデータ収集、整理

## 【4】環境目標

当社の環境負荷低減目標として、環境への負荷の現状と取り組み状況のチェック結果を検討し、自社に最も関係の深いと思われる二酸化炭素排出量の抑制、廃棄物排出量の抑制、リサイクル率の向上による、環境負荷の低減に重点を置き、目標を定め取り組むこととした。  
各目標値は、2008年～2010年度の平均を基準値とし、それぞれ毎年1%削減する。

### 《環境負荷の目標》

#### ① 二酸化炭素排出量

目 標	単 位	基準値	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	26,746	25,433	25,178	24,926	24,676	24,429

二酸化炭素排出量の72%は、ガソリン、軽油で、社有車6台での使用である。  
白山支店の電気使用量・その他は負荷が少ないので本社と合算で取り組む。

#### ② 廃棄物排出量

目 標	単 位	基準値	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
廃棄物排出量	kg	457	447	447	447	447	447

新聞紙と可燃ごみと会計書類が主で削減は困難であるが、極力ペーパーレス化に努め増加しないように現状維持とする。

#### ③ リサイクル率

目 標	単 位	基準値	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
リサイクル率	%	47	50	50	50	50	50

リサイクル率は50%を目標値として維持することを設定し取り組む。

#### ④ 水使用量

目 標	単 位	基準値	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
水使用量	m <sup>3</sup>	53	50	49	49	49	49

水使用量は49m<sup>3</sup>を目標値として維持することを設定し取り組む。

⑤自らが提供するサービスについての取組は、使用材料(トイレ洗剤・クレンザー等)を中性除菌洗剤(マルチクリーナー)で一本化を図り、使用量の推移を記録し、コスト削減、負荷の削減を実現する。

⑥使用する事務用品等はグリーン購入に取り組む。

## 【5】環境活動計画

### 《二酸化炭素排出量削減》

- ① 燃料の節減 (担当部署 業務部)  
公用車、通勤車輛のアイドリングストップの実施。  
規定速度を守り、急発進、急加速をしない。  
停車中、信号待ち時はギアをニュートラルにシフト変更する。  
定期的な車輛整備の実施。
- ② 電気量の節減 (担当部署 総務部)  
事務所内の不在時や休憩時は照明をこまめに消す。  
エアコンの温度設定は夏季28℃、冬季20℃に設定する。  
物置の照明は不必要なときは消す。

### 《廃棄物排出量削減》

- ① 廃棄物の分別回収の徹底 (担当部署 業務部 総務部)  
新聞紙の重量を測定する。  
資材消費済みの空き缶量をチェックする。  
厨房より発生 of 厨芥ゴミを抑制する。
- ② コピー用紙の削減 (担当部署 総務部)  
両面印刷の使用の徹底。  
コピー時書面確認しミスコピーの防止。

### 《水使用量の削減》

- ① 洗車で使用する水を減らす。(担当部署 全員)  
トイレ、厨房の使用での節水。  
水道バルブの閉め忘れ防止。  
雨水受水槽を設置し雑用水に利用する。  
花壇、植木の散水を節水する。

### 《その他》

- (担当部署 総務部)
- ① グリーン購入  
社内で使用する事務用品のグリーン購入や作業着のエコマーク商品購入

## 【6】2018年度の目標／実績と評価

目標	単位	2018年度		達成率	評価
		目標	実績	実績／目標	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	24,676	14,064	0.6	○
廃棄物排出量	kg	447	491.4	1.09	×
リサイクル率	%	50	68	1.36	○
水使用量	m <sup>3</sup>	49	64	1.3	×

※電力の二酸化炭素排出係数は北陸電力の2013年度実排出係数0.63kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用しました。

### ①二酸化炭素排出量について

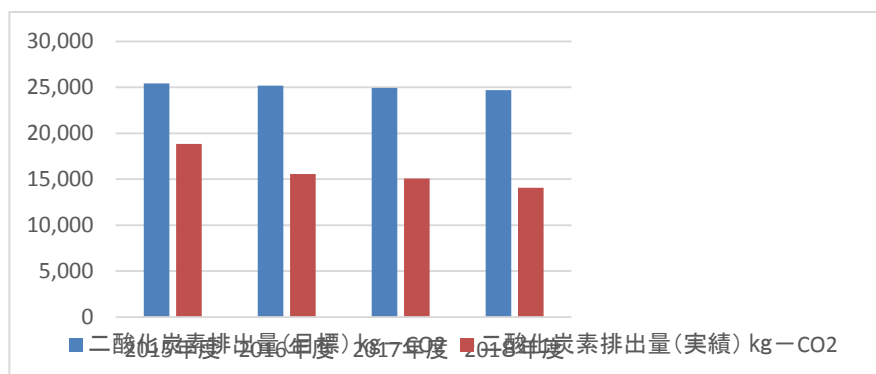
二酸化炭素排出量は2018年度、目標を達成した。

2018年度は2017年度の目標値より、さらに1%削減を目標、現状維持に努めた。

今後、社有車を順次、エコCarに切替、さらなる削減に努めていく。

本社・白山支店の、電気使用量の負荷も少ないので、今後も現状維持に努める。

目 標	単 位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
二酸化炭素排出量(目標)	kg-CO <sub>2</sub>	25,433	25,178	24,926	24,676
二酸化炭素排出量(実績)	kg-CO <sub>2</sub>	18,833	15,552	15,079	14,064



### ②廃棄物排出量について

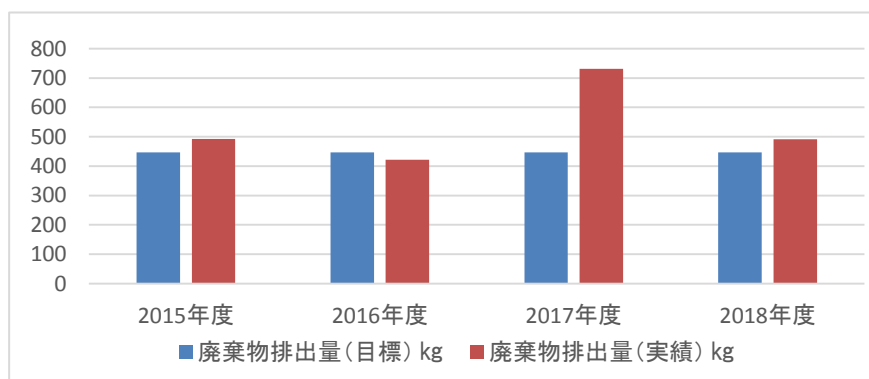
廃棄物排出量の2018年度は目標を達成できなかった。

廃棄する書類は大幅に削減したが、従来の数字とあまりかわらない。

次年度もリサイクル利用を徹底し意識を高めて、削減に努めて行く。

### 廃棄物排出量

目 標	単 位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
廃棄物排出量(目標)	kg	447	447	447	447
廃棄物排出量(実績)	kg	493	421	732	491



③リサイクル率について

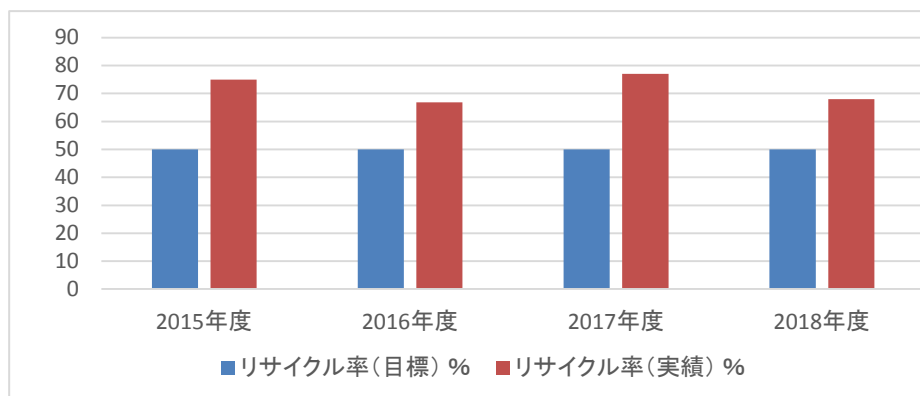
リサイクル率は2018年度は目標に対し36%の達成である。

昨年に引き続き達成できた。

次年度も引き続き、資料のデータ化を推進し、廃棄処分を極力減らすように努める。

リサイクル率

目 標	単 位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
リサイクル率(目標)	%	50	50	50	50
リサイクル率(実績)	%	75	67	77	68



④水使用量について

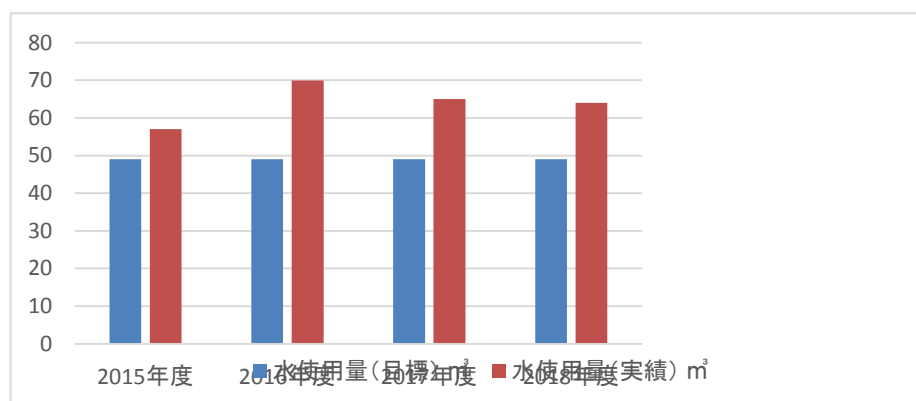
水使用量は2018年度は目標に対して30%の増加である。

昨年に引き続き未達成で、数値は横ばい状態である。

今後も節水し、使用量の削減に努めていく。

水使用量

目 標	単 位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
水使用量(目標)	m <sup>3</sup>	49	49	49	49
水使用量(実績)	m <sup>3</sup>	57	70	65	64



⑤化学物質使用量

今年度より化学物質使用量を把握し削減、すでに使用材料(トイレ洗剤・クレンザー等)を中性除菌洗剤(マルチクリーナー)で一本化し、コスト削減・負荷の削減・使用量削減は実現している。今年度の化学物質使用量は35.0Kgであった。

今後も数量を把握し、削減に努める。

⑥グリーン購入は本社で使用する事務用品から取組んでいるが、今後も増やす努力をしていく。



## 【7】目標達成の具体的取組

### 2018年度環境活動内容とその実施状況

目標	具体的取組内容	実施状況	担当部署
二酸化炭素 排出量の削減	車両の適正運転(空ぶかし、アイドリング)	○	業務部
	車両の効率的運行	○	
排出量の削減	空調設定温度管理(夏季28℃、冬季20℃)	○	総務部
	照明管理の徹底(消灯の徹底)	○	
	電気の節電	○	
廃棄物排出量 の削減	分別回収の徹底	○	業務部
	リサイクルの取組	○	総務部
水使用量の削減	洗車で使用する水の節水	×	総務部
	トイレ、流し台、手洗いで節水	×	
	花壇散水の節約	△	
紙使用量の削減	コピー用紙の節約(裏面利用)	○	総務部
	ペーパーレス化(パソコン利用拡大)	○	
グリーン購入	再生紙、事務用品	○	総務部
	エコマーク商品の購入	○	
教育訓練	EA21導入の意義浸透	△	業務部
	定例会議で進捗報告	△	
	改善事例の発表	△	

× 悪い △ 普通 ○ 良い

内部監査 環境方針・環境目標・活動計画・実施体制において資料を配布し、周知徹底を監査した。

教育訓練 年2回下記事項について実施した。  
 ・車両の適正運転、車両の効率的運行、空調温度設定管理、電気量の節電  
 ・空調温度設定管理、電気量の節電  
 ・分別回収の徹底、リサイクルの取組  
 ・コピー用紙の節約・ペーパーレス化  
 ・トイレ・厨房での節水、洗車使用時の節水  
 ・再生紙、事務用品エコマーク商品の購入推進

## 【8】次年度以降の取組

目 標	単 位	2008年～2010年 の平均の基準値	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	26,746	24,429	24,185	23,943
廃棄物排出量	kg	457	447	447	447
リサイクル率	%	47	50	50	50
水使用量	m <sup>3</sup>	53	49	49	49

- ① 事務所移転後、1年経過しましたが、数値は横ばい状態なので現状維持とする。  
目標値の見直しは次年度の結果を見てからとする。
- ② 廃棄物排出量は2018年度以降も現状維持とする。  
リサイクル率は50%を維持する。  
水使用量は前年度の数値より少し削減できているので、現状維持とする。
- ③ 化学物質(剥離剤)について、手順書に基づき適正に処理する。
- ④ 自らが提供するサービスについての取組は、使用材料の中性除菌洗浄剤(マルチクリーナー)でコスト削減、負荷の削減が達成できた。今後も数量を把握し推移をみていく。  
PRTR制度対象物質を把握し、社員安全教育を実施する。
- ⑤ グリーン購入は本社で使用する事務用品から取組み。
- ⑥ 社内外問わず、実施されているエコ活動への取組み。(ライトダウン2019in金沢)
- ⑦ 内部監査の実施 年2回(5月・1月)の社内安全パトロール表に内部監査項目を追加  
社員のエコ活動の意識向上に努める。

## 【9】環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果

環境関連法規及び苦情などはありませんでした。尚関係当局より違反、訴訟等の指摘は過去には一度もありませんでした。

環境関連法規に関しては自らが定期的に遵守状況をチェックし記録しています。

法律名	法的要求事項の内容と基準	当社順守内容
ビル管理法 (建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則)	建築物における維持管理	①貯水槽の清掃 ②消毒、水質検査、記録(設備責任者)
電気事業法	電気設備管理 冷暖房設備管理	①設備の運転監視(管理) ②運転記録 ③金沢市民芸術村・・・電検3種
消防法	ボイラーの管理	①ボイラーの運転管理・・・記録
環境基本法 第八条	事業者は事業活動に伴って生じる公害を防止し、自然環境を適性に保全するための処置を講ずる(ばい煙、汚水、廃棄物の処理) 国または地方公共団体が実施する環境施策に協力する。	環境に対する意識向上
地球温暖化対策の推進に関する法律	温室効果ガス排出の抑制に努める	二酸化炭素排出量の削減 ・空調温度管理 ・車輛の効率的運行 ・節水(トイレ・洗車・散水) ・水量計の記録管理
下水道法	使用の開始の届出等の提出	
廃棄物の処理に関する法律	事業者は事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。廃棄物の定義(一般廃棄物)	・一般廃棄物の分別処理及び削減に努める(当社では産業廃棄物は発生したことがない) ・病院等の受託先では受託先の指示に従う
PRTR法	環境への排出量等の把握に関する措置(PRTR)並びに化学物質の性状及び取扱いに関する情報の提供に関する措置(SDS)等を講ずることにより、事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止する。	・清掃業務において使用する洗剤、剥離剤等については、SDSを入手し、化学物資が含有されていないかを把握し使用する。 ・第1種化学物質が含有されているものについては使用量を把握する。

環境法規制変更の情報の入手は毎年3月に下記より実施

- ◇環境省・環境基本ホームページ      ◇金沢市のホームページ
- ◇石川県のホームページ                ◇全国ビルメンテナンス協会JASMINホームページ

※当社では、管理する受託先に適用される法令・法規等を適正に対応しています。

## 【10】代表者による全体の評価と見直し

環境活動の目標値を、2008年度から2010年度の平均値を基準とし、2011年度より目標達成に取り組んでいます。

事務所を移転し周囲の環境、建物等の設備に変更があり、取組、目標値の設定に不安ありましたが今年度も、二酸化炭素排出量とリサイクル率の2項目が達成となりました。

2018年度、二酸化炭素排出量に関しては、社用車の台数は変わらず、燃料の削減維持の結果が目標値削減に繋がっています。

廃棄物排出量に関しては、昨年移転時に比べ、廃棄書類の削減に努めましたが、目標を達成できませんでした。例年同様、過去の機密書類の廃棄もある現状です。

今後も社内全体でペーパーレス化に努め、紙使用量を削減したいと思います。

水使用量は、僅かながらも数値を下げております。社用車の洗浄回数減、花壇の水やりの散水減等、節水に努めた結果であると思います。

今後も現状維持とし、1%でも多く削減する努力をしていきます。

今後も、エコCar導入や化学物質の廃棄処理等、教育訓練にて周知徹底し、省エネルギー、環境に配慮した管理を行い、受託先等においては、利用者に快適で過ごしやすい空間を提供するために努力します。

社長交代に伴い、環境方針を最新版にします。

2019年 3月31日  
代表取締役 齊藤利明